

講義名称	教育方法論
開講責任部署	大学
講義区分	講義
基準単位数	2.0
科目群（区分）	教職
アクティブ・ラーニング実施の有無	実施有り
開講時期	2年 後期
必修・選択	自由
卒業認定・学位授与の方針との関連	自由科目につき該当なし（自由科目につき該当なし）

所属名称	ナンバリングコード
金城大学人間社会科学部社会福祉学科	16302044

担当教員

氏名	所属
◎ 松田 淳	大学・人間社会科学部・社会福祉学科

授業概要	授業の捉え方、授業方法および授業設計・評価方法、教科の授業計画の作成について講義する。
到達目標	授業の捉え方、授業方法および授業設計・評価などの学びを通して、教科の授業計画の作成方法を理解することが出来る。

授業計画表

授業計画表			
第1回	【授業計画】		
	授業とは何か（1）		
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】	
	授業理論、授業づくりに関する著書・文献・配布資料を読んでもくこと	120	
第2回	【授業計画】		
	授業とは何か（2）		
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】	
	授業理論、授業づくりに関する著書・文献・配布資料を読んでもくこと（第1回、第2回の課題レポート）	90	
第3回	【授業計画】		
	現代の教授方法（1）＜レポート提出＞		
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】	
	授業方法に関する著書・文献・配布資料を読んでもくこと	120	
第4回	【授業計画】		
	現代の教授方法（2）		
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】	
	授業方法に関する著書・文献・配布資料を読んでもくこと	90	
第5回	【授業計画】		
	現代の教授方法（3）		
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】	
	授業方法に関する著書・文献・配布資料を読んでもくこと（第3回～第5回までの課題レポート）	90	

第6回	【授業計画】	
	授業設計と評価（１）＜レポート提出＞	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	指導案作成の資料を読んでおくこと	120
第7回	【授業計画】	
	授業設計と評価（２）	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	指導案作成の資料を読んでおくこと	90
第8回	【授業計画】	
	授業設計と評価（３）	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	指導案作成の資料を読んでおくこと	90
第9回	【授業計画】	
	学習指導の技術（１）	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	指導案作成の資料を読んでおくこと	90
第10回	【授業計画】	
	学習指導の技術（２）	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	指導案作成の資料を読んでおくこと（第6回～第10回までの課題レポート）	90
第11回	【授業計画】	
	教育方法と学校・学級経営（１）＜レポート提出＞	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	学校・学級経営の著書・文献を読んでおくこと	90
第12回	【授業計画】	
	教育方法と学校・学級経営（２）	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	学校・学級経営の著書・文献を読んでおくこと	90
第13回	【授業計画】	
	教育における評価と改善（１）	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	教育評価に関する著書・文献・配布資料を読んでおくこと	90
第14回	【授業計画】	
	教育における評価と改善（２）	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	教育評価に関する著書・文献・配布資料を読んでおくこと（第11回～第14回までの課題レポート）	90
第15回	【授業計画】	
	まとめ＜レポート提出＞	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	全講義内容の復習と確認	120

履修に必要な予備知識や技能	より良い授業実践の方法を学ぶために、教職入門、教育概論Ⅰ、Ⅱの学びを復習しておくこと。
課題に対してのフィードバック	単元ごとに提出した課題については、点検後、レポートの返却と同時に回答例を示し説明を加える。また、「定期試験」の結果照会については、研究室にて対応する。
評価方法・基準	定期試験50％、小テスト〔課題レポート〕30％、受講態度（授業への参加度、事前学習）20％

教科書	教科書・参考書：使用テキストなし（講義資料の配付） 参考書：多田俊文編「教育課程講座 5－教育の方法と技術」学芸図書
備考	（１）や（２）等のついた授業計画項目では、はじめに基礎的内容、その後発展的内容へと授業内容が進展する。
実務経験の内容・期間	高等学校教諭（36年）